

▶会社の概要や特徴

創業67年目を迎え、公共土木工事を中心に総合建設業を主体とし、廃棄物処理業を併せて行うなど、「美しい地域環境を次世代の子どもたちへ」をスローガンに環境に配慮した事業の展開を行っています。

▶取り組んだ理由きっかけ

社員の労働環境の改善を目的として、取組を実施する3年ほど前から検討を重ねてきました。
求人活動においても利点があると考え、他社が一般的に取り組むようになってからでは、あまり意味がないと考えました。
以上のことから、早期に取組を実現する決断をしました。

▶実現による効果など

4週8休の導入による対外的な効果は、すぐに現れるものとは考えていませんでした。
弊社も同じような過去がありますが「休みは日曜日だけ」、「働いた分だけ手間がつく日給制」が代名詞のような業界でした。導入により、社員からは「家族との時間が増え、子育てにも積極的に関わられるようになった」、「自分の趣味を増やすきっかけになった」などの声が出ており、社内における反応は、まずまずといったところです。
業界内における4週8休の普及には、まだもう少し時間が必要かと思われます。導入を実現している企業として、積極的にアピールし、さらに改善を重ねて、導入の効果がしっかりと現れていくようにしていきたいと考えています。

▶4週8休実現へのプロセス

国が提唱する働き方改革に先駆けて、社員の労働環境改善を目的として、4週8休導入の3年ほど前から様々な検討を重ねてきました。

▶実現に向けた様々な課題とその克服方法

週休日を増やすため、1日あたりの労働時間を従来の7.5時間から8.0時間に変更し、生産性の向上を図りました。
この業界に多く、弊社においても現場作業員の一部に採用していた日給月給制の社員については、全て月給制とし、休日数増加による所得減少等の影響が生じないようにしました。休日を確保して、労働環境を改善すると同時に賃金をしっかりと保障することは、4週8休導入には、欠かせないものと考えました。

▶独自の取組や工夫されてる点

連続した現場作業により効率の向上を図るため、週の途中にある祝日等を稼働日とし、週末に連休を設けるなど、稼働日と休日のメリハリをつけるような休日計画を行うようにしています。